

## 昭和53年度 厚生省心身障害母体外因研究班 妊娠貧血分科会

分科会長 松山栄吉

### 第1回会合議事録

日時：昭和53年7月1日 午後2時30分～5時  
場所：東京ステーションホテル  
出席者：松山栄吉（愛育病院）  
倉林道男（順天堂大）  
清水哲也（旭川医大）  
永井生司（横須賀共済病院）  
藤森 博（国立岡山病院）  
関場 香（岡山大）  
江口勝人（岡山大）  
高知床志（岡山市民病院）  
藤井 仁（愛育病院）  
青木 正（愛育病院）  
白川光一（福岡大）  
有広忠雅（慈恵医大）  
河上征治（慶応大）  
沢田啓司（愛育病院）  
千賀悠子（愛育研究所）  
阿保秀夫（東北大）  
高林俊文（東北大）

#### 議 事：

初年度は従来の血色素値 $11.0 \text{ g/dl}$ 以下を妊婦の貧血と考えるという定義に基づいて、貧血の有無についてどのような影響が現れるかということ、パイロットスタディーとして行ってみた。しかし、最近の妊婦管理の向上により、従来の定義どおりでは、貧血群と対照群との間に明瞭な差異を認めなかった。その事実に基づいて、2年目の研究方法として、新しい貧血の分類について討議し、2年目の調査方法について検討した。

### 第2回会合議事録

日時：昭和54年3月5日午後3時～6時  
場所：鉄道会館ルビーホール  
出席者：松山栄吉（愛育病院）  
倉林道男（順天堂大）  
清水哲也（旭川医大）  
永井生司（横須賀共済病院）  
藤森 博（国立岡山病院）  
江口勝人（岡山大）  
川田清弥（岡山大）  
高知床志（岡山市民病院）  
藤井 仁（愛育病院）

白川光一（福岡大）  
有広忠雄（慈恵医大）  
河上征治（慶応大）  
千賀悠子（愛育研究所）  
高林俊文（東北大）  
平野睦男（東北大）

議 事：

2年目の研究内容について、各研究グループの順に、研究者ごとに、研究内容の発表を行った。すなわち古谷グループは倉林、清水グループは清水、永井、藤井グループは藤井、高知、江口の各研究者より発表があり、それぞれについて検討を行った。そして来年度の疫学的調査のまとめをどのように行うのが適切であるかについて検討した。また今後妊婦の貧血の値をどのように考え、貧血のある妊婦をどのように管理すべきかについて検討した。